

僧侶向けネッククーラー

お盆に檀家の家を回る僧侶を暑さから守ろうと、松阪市の仏壇仏具店「仏英堂」（中町）と保冷剤メーカー「三重化学工業」（大町）が協力し、首に巻いて使う「お坊さんネッククーラー」を今月発売した。着物の半襟のような見た目で、法衣の下に身に着けても目立たないデザインに仕上げた。

（望月海希）

半襟のような見た目に

ネッククーラーは長さ約一坪、幅六寸の筒状の白い布に、長さ約八十寸の細長

い保冷剤を入れて使う。保冷剤は首の形に沿って巻けるよう、長さ約十寸ごとに区切りがある。一回凍らせると、三十分から一時間ほど冷却効果が続く。

共同開発のきっかけは、仏英堂の野呂英且専務（三）が、お盆の時期に汗だくで檀家を回る僧侶を心配したことから。以前から交流のあった三重化学工業に提案を持ち掛け、昨年から開発を開始。法衣に合わせやすいよう、色や形状にこだわったという。

野呂専務は「このままだと『暑いから（檀家の家を回るのを）やめよう』となるのではないかと危惧した。お盆の文化の継続に貢献できればうれしい」と期待を寄せる。三重化学工業の山川輝専務（三）は「われわれはものづくりは得意だが、お坊さんのニーズは入っていない。面白い組み合わせで商品ができた」と話した。

一個二千五百円（税込込み）。仏英堂の店舗やオンラインショップで販売している。

●仏英堂＝0598(21)09109



ネッククーラーをPRする野呂さん（左）と山川さん（中）ら＝松阪市役所で